

18歳選挙権、高校生はどう考える？



小郡高校・三井高校、生徒との意見交換会

18歳選挙権で

若者の政治参加を

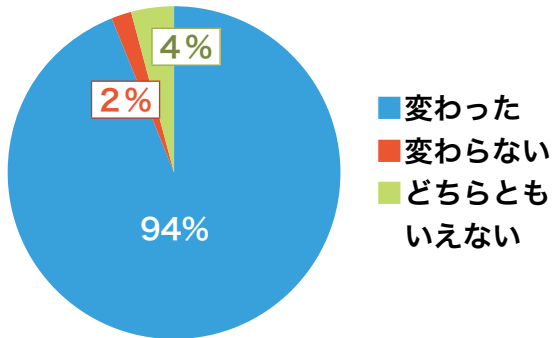
11月14、16日の両日、小郡市議会は市内にある小郡高校、三井高校それぞれの生徒との意見交換会を開催し、両校合わせて69人の高校生が参加しました。今回の意見交換会は平成28年度から選挙権年齢が18歳にまで拡大されたことから、若者の政治参加にむけ身近な地方政治への関心と理解を高めてもらおうと開催したものです。

意識の高さに

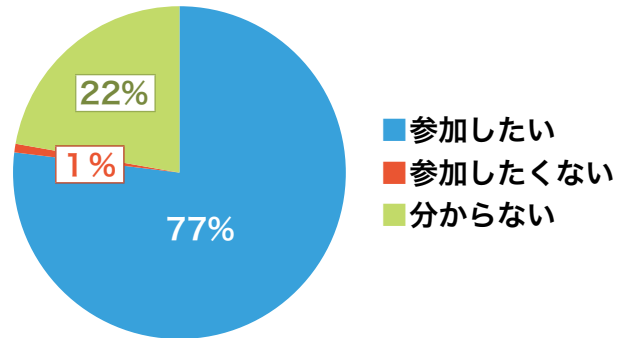
驚く市議会議員

参加した高校生たちが初めての経験に緊張しながらも、一人ひとりしっかりと意見を述べる姿に感じました。また、想像以上の政治への関心の高さは議員一同にとつてうれしい驚きでした。生徒たちは、自分の将来について真剣に考えていて、もっと社会や政治についても話せる場を求めていることがわかりました。

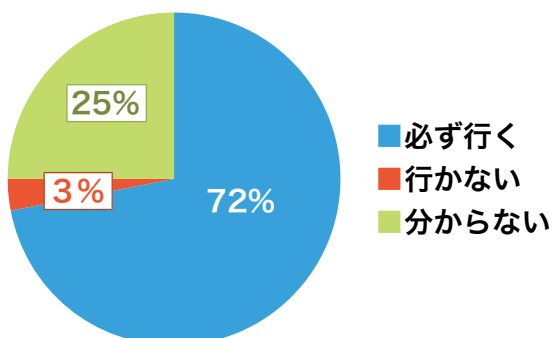
今回の意見交換会であなたの政治に対する意識は変わりましたか



次回も参加したいと思いますか



18歳選挙権についてあなたは選挙に行きますか



参加した高校生たちの感想から

- ・もっと詳しく学んでいかなければと思った。
- ・社会に寄り添っている感じがした。自分たちが出す意見を議員に託してもっと社会が変わっていけばと思った。
- ・とても参考になった。いつもの会話とは違って真剣な話をできてうれしかった。
- ・自分たち高校生の意見を真剣に聞いてもらってとてもうれしく思った。
- ・政治はとても遠い存在だったけれども、意見を言えて自分たちの身近な存在になった。

小郡高校・三井高校、生徒からの意見

●自分たちの住んでいる街を良くするためには

- 道路の道幅や歩道が狭く歩行者には危険です。また自転車通学時、左側の白線枠が狭いため車が来たときに危ないので、安全に通れるようにしてほしい。
- 街灯が少なく下校時や塾の帰りなど暗くて不安です。また駅の駐輪場に街灯や屋根を整備してもらいたい。
- 自転車やバイクで通学していますが、道路のあちらこちらにでこぼこが多く大変危険です。早急に舗装の修繕をしてください。
- 西鉄の駅に次に来る電車を知らせる電光掲示板を設置してほしい。
- 障がい者や高齢者が住みやすい街、バリアフリー化を進めてもらいたい。
- 障がい者用のトイレをはじめ、掃除がされていない。また手すりもなく電気が付かず、紙が無い等使いにくい。鏡を斜めに設置するなどの配慮も必要です。

●将来について不安に思っていること

- 少子高齢化が進んでいること、高齢化社会になるので年金が心配です。
- 地元で就職先がありません。
- 将来結婚して子どもを産み仕事を続けたいが、待機児童が増えていることを聞くと、仕事が続けられるのか、また収入についても不安です。
- 税金が高くなるのが心配です。社会保障などに使うことが約束されれば税金が上がることはやむを得ないと思います。
- 産みやすく、育てやすい環境の整備、子育て支援の充実等、激務であるにも拘わらず給料の安い保育士や介護士の給料改善してもらいたい。

●十八歳選挙について

- 幅広い年齢から意見を聞き投票率を上げることはいいいことです。いずれ関わらないといけないので今のうちに学んでいきたい。
- 政治がわからないので今後授業などで習い知識を増やし投票したい。
- 社会に詳しくなく理解もしていないので、目的を持たず投票してしまう人が増えてしまうのではないかと心配です。
- 若い人が参加できるのはいいいが、十八歳はまだ早いと思います。

平成28年度 第2回議員全体研修会報告

『経営支援から見えてくるもの ～繋がることの大切さ～』



都市経済常任委員会の企画により、平成28年11月16日に『経営支援から見えてくるもの～繋がることの大切さ～』というテーマで研修会を実施しました。小郡市が農商工連携や6次産業化を推進していくためのヒントを得ることを目的に、久留米商工会議所 経営支援課 笠 智宣氏を講師にお迎えし、お話を伺いました。

講師が実際に携わってこられた経営支援について、事例を交えてお話いただく中で、企業やアイデア、人、モノを結びつけることによってお互いが強化されたり、繋がりがさらに広がったりと、“繋がること”の大切さに改めて気付かされるものでした。